

拝啓

盛夏の候、貴社ますますご発展のことと

お喜び申し上げます。

先日、豪雨の災害に際しましては、ご多忙のところ
たくさんの方に、お世話になりましてありがとうございます。
当初は牛のつけようもなくどうする事もできず思案して
ありました。

母はひとりで悲しみに耐え、不安な毎日を過ごしてありました。
が、皆様が駆けつけてくださったおかげで、普段の生活を
取り戻すことができました。あのような場所でするので

不安は残りませんが、生きていく力を与えて頂き感謝しております。
母もとても喜び、八十五年間、生きてきた中で、こんなに
感謝したことはない。今更でなかつたと申してありました。

炎暑の中、嫌な顔ひとつせず、一生懸命頑張ってください。

申し訳ない気持ちと共に感謝の思いでいっぱいです。
本当に助けて頂きました。ありがとうございます。
皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいませ。
略儀ながら書中をもちましてお礼申し上げます。

敬具

平成三十年 八月五日

七月七日豪雨災害でお世話になりました

綾部市篠田町深山 〇

相根ハツ枝 娘ハ千代

株式会社昭和建設

工事部 工事部長

渡邊 大展 様

